

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

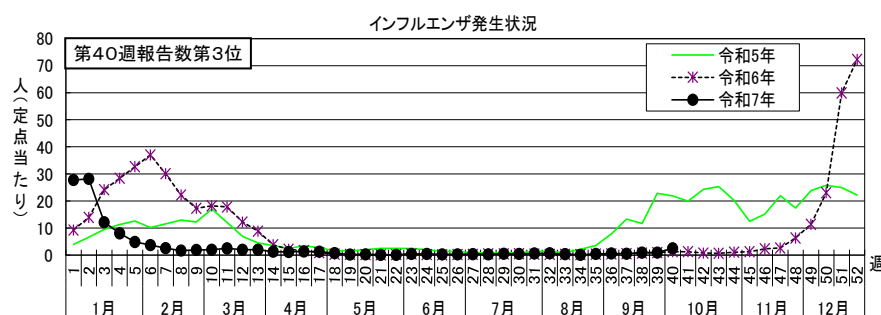
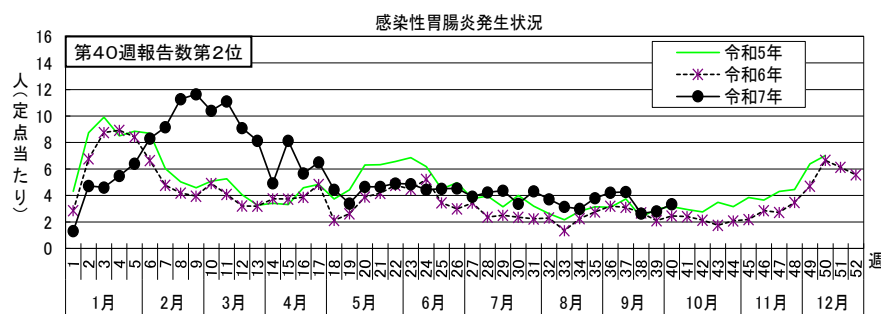
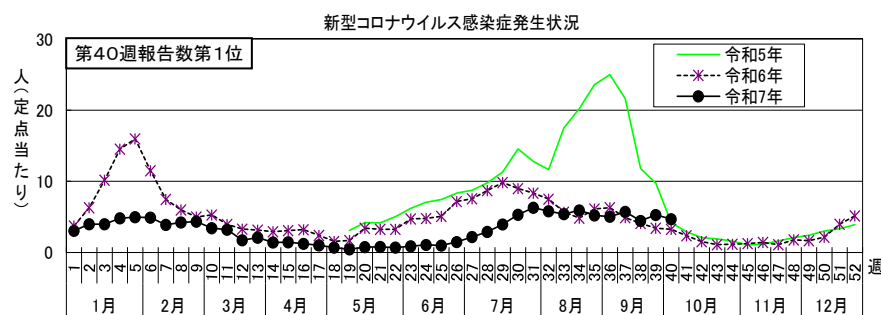
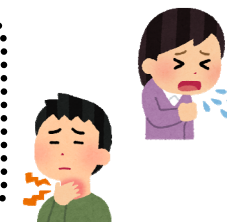
令和7年9月29日（月）～令和7年10月5日（日）〔令和7年第40週〕の感染症発生状況

第40週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）新型コロナウイルス感染症 2）感染性胃腸炎 3）インフルエンザでした。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者報告数は4.70人と前週（5.27人）から横ばいでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は3.35人と前週（2.81人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は2.52人と前週（0.95人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

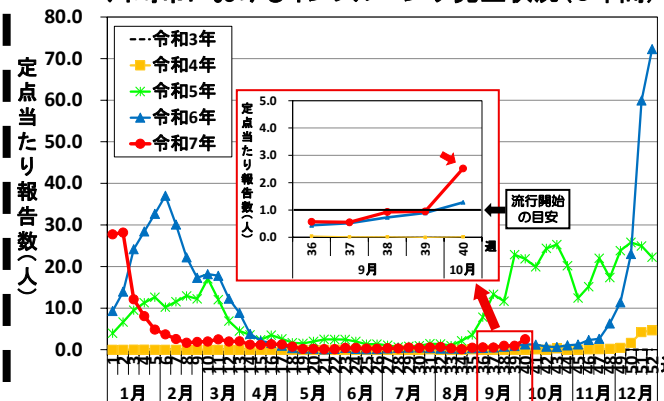


インフルエンザの流行期に入りました！

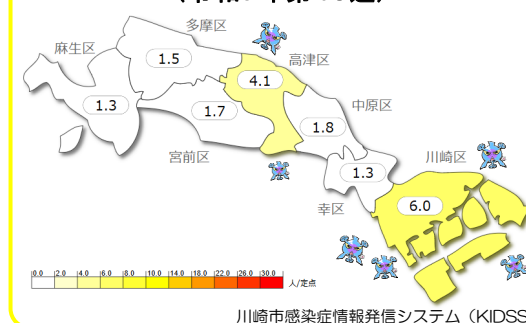
川崎市における令和7年第40週（9月29日～10月5日）のインフルエンザの定点当たり患者報告数は2.52人となり、流行開始の目安である定点当たり1.00人を超えました。区別では、川崎区が定点当たり6.00人と最も多く、次いで高津区が4.11人となっています。また、本市のリアルタイムサーベイランスにおいては、9月以降A型の報告数が増加しています。

インフルエンザの感染拡大を防ぐために、手指衛生等の対策を徹底するとともに、咳やくしゃみ等の症状がある場合は、感染を拡げないために咳エチケットを心がけましょう。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況（5年間）



川崎市におけるインフルエンザ分布マップ（令和7年第40週）



高齢者を対象とした定期のインフルエンザ予防接種について

令和7年10月1日から川崎市内に住民登録のある高齢者等を対象に、インフルエンザワクチンの定期接種を実施しています。実施期間等の詳細は川崎市のホームページを御確認ください。